

緑を守り、緑を育てる

未来に届けたい

「水と緑の豊かなまち」

鈴鹿山系から伊勢湾に至る自然豊かなまち、四日市。

市では、里山、農地、河川、自然海岸などの自然環境や市街地の公園や街路樹などを保全、創出することで、次世代を担う子どもたちに届けたい「水と緑の豊かなまち」の実現を目指しています。そうした取り組みをさらに推進するため、このほど、平成15年に策定した「四日市広域緑の基本計画」を隣接3町(菰野町、朝日町、川越町)とともに見直しました。

緑の果たす役割

緑はすべての生命の源であり、心を安らげ、豊かにしてくれます。また、大規模な公園は、災害時に緊急避難地として都市防災の役割を担うなど、現代社会で緑が果たす役割はより重要なものになっています。



緑の将来像の実現を目指します

「四日市広域緑の基本計画」は、おおむね10年後の平成32年度を目標年次とし、具体的な緑の将来像や目標、その実現に向けた施策を定めたものです。計画は、住民の皆さんと行政が共に取り組んでいくための総合的な指針となるものです。

■緑の保全・創出のための取り組み

“つながる” 水と緑の 保全と創出

貴重な自然を保全するとともに、それらをつなぐ新たな緑を創出し、水と緑のネットワークをつくります。

- 海岸・干潟の保全、天然記念物の保全、市街地外縁部の丘陵地保全、多自然川づくり(※)、自然と触れ合う場の創出 など
- (※) 河川が本来有している生物の生息・生育などを保全あるいは創出するために行う河川の管理

まちを “彩る” 緑化の推進

大規模な公園の整備とともに、緑の少ない市街地では、沿道や公共施設、民有地の緑化などにより、市街地の緑化を推進します。

- 核となる公園整備、民有地緑化促進、市街地内の街路樹整備、官公庁施設の緑化 など

住民とともに緑を “育てる” 体制づくり

身近な公園や街路樹の維持管理、市民緑地の活用、里山保全活動や緑化ボランティアへの支援など、住民と行政のパートナーシップを確立する体制づくりを行います。

- 緑に関する市民活動支援、市民ボランティアの人材育成、環境学習などの機会の提供 など

● 詳しくは、都市計画課ホームページ

(<http://www5.city.yokkaichi.mie.jp/menu68985.html>)でもご覧いただけます

市の支援制度を利用して、 緑あふれるまちづくりを

市民緑地制度

身近な里山などを自然と触れ合う場として整備するための支援を行っています。市民緑地は、すでに市内7カ所で開設されています。

花と緑いっぱい事業

道路沿いの空き地や駅前などの公共空間で緑化を行うボランティア団体への補助を行っています。本年度は87団体が取り組んでいます。



花壇を見て、
ほっと一息ついて
ほしいですね。

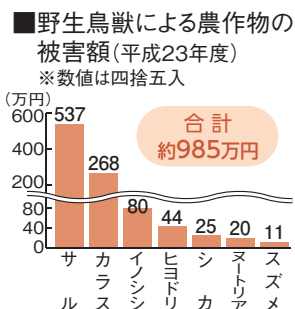
堀の田公園
(鵜の森二丁目)

生垣設置助成制度

道路に面する宅地で、新たに生垣を設置したり、ブロック塀を生垣に替える場合の補助を行っています。

被害の約半分がサル、 生産意欲の減退も

全国各地で大きな問題となっている鳥獣被害。本市でもその被害が広がっており、昨年度の農作物被害額は約985万円に上ります。なかでも、サルによる被害は大きく、全体の約54パーセントの537万円にもなっています。また、鳥獣被害は目に見える被害だけではなく、農家の生産意欲を減退させるなどの問題もあります。



野生のサルやカラス、イノシシなどによる、農作物への被害が増えています。人里近くにも現れ、人への危害も心配されます。被害を防ぐための方法を知り、地域で協力して取り組むことが重要です。

広がる、サルやカラスなどによる農作物被害



サルにより被害を受けたジャガイモ畑

適切に対処しよう!

鳥獣の被害を防ぐ5つのポイント

1 人里や畑から「エサ場」をなくす
生ゴミ、雑草、廃棄野菜など、エサになるものは取り除きましょう!

2 野生鳥獣の「隠れ場」をなくす
草刈りをし、見通しをよくしておきましょう!

3 樹木・田畑を囲む柵を設置
野生鳥獣の侵入を防止しましょう!



柵を巡らせた水田

4 追い払う
サルやカラスなどの姿を見掛けたら、自分の身の安全を確保した上で、追い払きましょう!
ただし、イノシシは危険ですので、刺激をせず静かに立ち去りましょう。



5 適切に捕獲する
四日市支部猟友会の協力のもと、有害鳥獣捕獲を行っています。

もっと詳しく知りたい場合は...

研修会をご活用ください!

自治会などで、有害鳥獣対策について学びたい場合は、農水振興課にご連絡ください。担当者が出向き、有害鳥獣への対処の方法を、詳しく説明します。

サルの動向を知るには

サルどこネット

サルの位置情報を共有しているホームページサイトです。「サルどこネット」でサルの位置を把握し、追い払いなどに活用してください。

サルどこネット <http://www.sarudoko.net/venus/>

携帯電話のメールアドレスを登録していただくとリアルタイムで位置情報の配信を受けることができます。希望する人は、農水振興課にお問い合わせください